

# 「ゴーゴー・しんぞ」

## 飯塚市議会議員 うえの伸五

### 全力活動の市政報告



No.16

お陰さまで再選させていただきました。

四月十七日に行われました飯塚市議会選挙。

穎田地区では、結果的に無投票だったとはいえ、皆さまには、様々な面でご迷惑をおかけした事と存じます。

二期目も初心を忘れずに全力で活動してまいりますので、今後とも叱咤激励いただきますように、よろしくお願い申し上げます。

今回の「ゴーゴーしんぞ」では、

- ・改選後の会派構成について。
- ・総務委員長の拝命について。
- ・実現を目指す要望施策の一例について。
- ・穎田地区関連の予算について。

・9月議会一般質問について。

・連絡先、電話番号の変更について。

ご紹介させていただきます。

改選後の会派構成（○は代表者、敬称略）

同志会 ○田中博文、鯉川信二、吉田健一、

石川正秀、上野伸五

飯塚クラブ ○岡部 透、藤本孝一、松延隆俊

いつか会 ○藤浦誠一、秀村長利、明石哲也

公明党 ○八兒雄二、田中裕二、守光博正

以上、四会派十四名が友好会派の皆さまです。

市民クラブ ○坂平末雄、森山元昭、道祖 満  
新政会 ○古本俊克、小幡俊之、永末雄大、  
瀬戸 元、江口 徹  
伯楽会 ○梶原健一、平山 悟、兼本鉄夫  
民主党 ○松本友子、佐藤清和  
日本共産党 宮嶋つや子

### 総務委員長・消防議会議員を仰せつかりました。

総務委員会の担当部署は

「企画調整部」総合政策課、人権同和政策課など。

「総務部」総務課、人事課、契約課、管財課など。

「財務部」財政課、課税課、納税課など。と、なります。

(この常任委員会の編成は飯塚市条例により、二年交代  
です)

### 実現を目指す要望施策(抜粋)

コミュニティバス事業では、

皆さまから「使い勝手が良くない」とご指摘を受け続けているバス事情では、定期運行時間や路線を原則廃止し、自由で便利な予約制「乗り合い小型バス」を目指します。

顛田地区の水害対策事業では、

勢田地区排水ポンプの設計予算が計上され、設置実現が見えてきました。これに加えて、浸水防止のため各所調整池の貯水容量を増強し、河川流入量の削減を目指します。

入札制度改革では、

今後、小中学校や公共施設の耐震化などの大型工事が予定される中、市内業者で対応できる工事については、競争性を維持しながら市内業者が受注できる制度実現を目指します。

イノシシ対策では、

引き続き、多くの方々よりイノシシ被害についてのご相談を受けております。

武雄市の「いのしし課」など、先進地の事例を参考に有効な対策実現を目指します。

## 穎田地区関連の補正予算抜粋（千円単位）

### 道路橋りょう新設改良費

福門・新立道路法面吹きつけ工事 11,300

### 浸水対策事業費

勢田排水ポンプ場、新設基本設計費 8,000

### 小中一貫教育研究事業費

指定校 穎田小・穎田中、及び伊岐須小・二瀬中 401

### この他にも、

庁舎問題検討事業費 1,616

旧4町まちづくり支援事業費 1,705

地域支え合い体制づくり事業費 4,420

児童虐待防止対策強化事業費 679

プレミアム商品券の発行補助金 14,000

各所河川しゅんせつ工事費 17,000

などが計上されています。

9月議会での「うへの伸五」一般質問（要約）です

・小中学校へのエアコン設置について。

・放射能の影響と学校給食の安全性や給食費について。

・放射能測定器の設置について。

・自由に使える地域補助金の実現について。

### 【小中学校の各学級へのエアコン設置について】

昨今の大きな気候変化は、世界各地で大雨や大干ばつ、大飢饉、大寒波、を引き起こし、多くの犠牲者がでるなど、もはや、想定外という言葉では、到底おさまり切れないほどの猛威をふるっておることは、皆さまご承知の通りです。

昨日（平成二十三年九月十五日）も、多くの子ども達が熱中症で病院に運ばれたと、報道されておりました。自然の前では、人はある意味、無力に近い、けれども、備えることができる部分にはキッチンと手を差し伸べていただきたい。

そのような思いで質疑に入らせていただきます。

小中学校の各学級に、エアコンを完備すると費用はどの程度かかるのか。

三十四校・四百四クラスすべてに設置すると試算し

て約十五億円、仮に六ヶ月間使用したとすると電気代が約一億円です。

合併特例債を活用すると、設置費用の実質負担はどのくらいか。

約五億五千万円です。

現在ほとんどの教室に扇風機が設置されているが、その経緯は。

学校配当予算やPTA寄贈などで、昨年までに二十四校中二十三校に設置。

昨年夏の猛暑を受け未設置の学校から要望があり予算化し、各学級に二台の壁掛け扇風機を設置。

なお、穎田小学校については、風通しが良いことや平成二十四年度完成の新校舎へ設置してほしいと学校より希望があり設置しておりません。

つまり、同じ飯塚市立でありながら設置費用は負担者が違っており、設置の時期もマチマチだったという事だが、具体的に、どのような状況になればエアコンが設置されるのか。

三十五度以上の猛暑日が続き、教室の温度が体温に近くなる場合は、設置を考える必要があるかと考えています。

学校教室内では体温に近い温度、つまり三十六度くら

いの日が続けば、エアコンの設置を考える必要がでてくる。という事は、

三十六度未満であれば、たとえ何日続いたとしても問題はないだろう、と考えてらっしゃる。その根拠は。

室内にいても熱中症が想定されるからです。

県立高校は保護者や同窓会の負担で学級単位にエアコンを設置しているが、どのような理由だと考えられるか？

夏、冬の課外を受けての学習環境の整備であると思われま

す。それでは、夏休み冬休み以外は、エアコンは稼働してないのか？

七月から九月、十二月から三月までの七ヶ月間の利用となっております。

高校生と小中学生では、精神的にも体力的にも大変大きな差があると思うが、扇風機と同じように、保護者が自己負担で教室にクーラーを設置したいと申し出があった場合、飯塚市ではどのような対応をするのか？

教育委員会及び学校、関係者と協議しなければならぬと考えています

個別対応という事になれば学校間で教育環境に大き

な違いが生じるので、これは行政主導でやられるべきだと思います。

では、行政施設での現況はどうか、行財政改革をすすめている飯塚市だが市役所の設定温度は何度か？

二十八度を超すと冷房を入れています。

それは何故か？

温室効果ガス削減のためと労働安全法の事務所衛生基準規則に二十八度以下と記されていることから設定されたものと考えます。

我慢・忍耐も教育の一環だからと、子ども達にだけ押し付けるわけにはいかない、市役所でも三十六度まではエアコンをつけずに同じ環境体験をされてはいかがですか？

労働安全衛生上好ましくないし、業務効率も低くなり、来庁者にとっても不快と感じられると考えるので、二十八度設定を続けたい。

健康被害については、気温二十八度でも、湿度が五十五%になれば熱中症リスクが警戒エリアになると日本気象学会は警告しています。

気温三十六度の場合は、湿度二十%でも警戒ゾーン、三十%から嚴重警戒、五十%に達すればもう危険とい

う段階です。ここまで我慢させると大人でも危険なんです。

子ども達には、国の安全基準規則からかけ離れた環境を我慢させたまま、大人は二十八度、子どもは三十六度という飯塚市の現状ですが、改善の必要は無いと思われませんか？

通風や外壁の断熱化を工夫することで温度を調整したいと考えていますし、ある程度、自然の環境に慣れた形で勉強に励んでいただきたいと、考えております。

飯塚市の財政を考えれば、施策の選択、優先順位の決定が必須だという事は十分理解しているつもりですが、しかし、必要であれば新しい施策も手掛けなければならない。

ですから、これまで執行部の皆さんも、事業の統廃合や職員削減などのコストカットを行う一方で、将来のまちづくりに必要なだと考える投資や、由来にとらわれない新規部署の立ち上げも実行してこられた。

同じように、この問題についても、今一度考えていただきたいんです。

小中学校に今までクーラーはなかった、だからそのま

まで良いじゃないかという考えは、もう危険です。高校でさえ半年以上はクーラーが稼働しているんです。飯塚市の子ども達に何かあってからでは遅い。

確かに子どもを甘やかし過ぎるな。たくましく育てよう。という意見もありますし、私も基本的に賛成です。ですが、それは決して大きな危険を伴うものであつてはならない。

冒頭申しましたように、自然は計りしれませんし、日本でも気温変化に関する警鐘は大きく鳴らされています。私は考えています。

ふるさとの未来をシッカリと背負っていただかなければならない子ども達の健康のために、学級クーラーの設置について、飯塚市の英断に期待をするとともに、その実現を心よりお願い申し上げます。

質疑を要約すると、市役所の設定温度は国の労働安全基準に従い二十八度以下。

日本生気象学会は、二十八度でも湿度次第では危険だと警告している。

飯塚市では、子ども達は三十六度未満であれば何日続

こうが大丈夫と考えている。高校では、年に半分以上の七ヶ月間、クーラーが稼働している。

保護者次第では、クーラー設置と未設置の学級が出てくる可能性がある。

設置には時間がかかります。強烈な猛暑になった場合に合いません。

合併特例債の活用期限が切れると設置費用負担は約十億円増え、今後は、放射能や黄砂の影響も危惧されます。地球温暖化も沈静化する気配はありません。

早期にクーラー設置を実現していただくように「請願書」の提出も行いました。

### 【原発放射能の影響に関して】

・学校給食の安全性確保について確認をいたしました。  
・食材の高騰による学校給食費の値上げは考えていない旨、確認いたしました。

・放射能を常時観測するモニタリングポストについては、飯塚市への設置方針が表明され、今後、実現に向け協議が進められます。



## 地域への総括補助金制度の創設について

地域の活性化について、総括補助金制度の創設についてお伺いいたします。

飯塚市が掲げる協働のまちづくりを推進していくためには、各地域へ一定の施策決定権限と、ある程度の自由裁量財源の移譲を行い、まちづくりを押し付けられているという住民意識の払しょくが必要だと思っています。

「穎田まちづくり協議会補助金」と「地域コミュニティ活動推進補助金」この二つの補助金は、今後どのようになっていくのですか？

ご質問の二つの補助金については、今年度と来年度の二年間については並行して実施してまいります。平成二十三年度と平成二十四年度で、現在まで地域関係団体へ交付されてきました地域向け補助金を、関係者の理解と協力をいただき発展的に統合を行います。

平成二十五年以降、新制度による補助金として地域で活用しやすいものにしていきます。

平成二十五年には、この二つの補助金は統合され「新しい補助金制度」として生まれ変わるといふこと

ですが、各地域で抱えている問題や課題は同じではありません。

ある程度の自由裁量財源を「まちづくり協議会」に持っていたいただくことにより、交通弱者対策、買い物弱者対策、子どもや高齢者の見守り運動、季節祭りの実施など、その地域が抱えている問題の解決へつながりやすいと思います。

地域での連帯感ができ、コミュニティの活発化や自治会加入率の向上へも寄与できるのではないかと。その結果として地域の事は地域で。本当の意味での自治意識が浸透するのだ、と私は考えます。

二十五年に新設される補助金制度には、そのような意味が含まれていると理解してよろしいのでしょうか？

ご質問の通り、私どもも考えております。市民活動推進課では関係各位のご理解とご協力をいただきながら、平成二十四年度までに市内十二地区公民館にまちづくり協議会が設立されるよう目指しております。

当然、まちづくり協議会が新しい制度の補助金の受け皿になると考えています。

この新しい制度による補助金のあり方につきまして

ては、現在交付されており、地域関係団体への地域向け補助金の統合を行いながら、質問者から地域の実情を述べられました。意見も含めまして、今後、各まちづくり協議会や関係者との意見交換をすすめ、行政内の調整等を行い、地域で活用しやすい地域コミュニティ活動の活性化につながる制度にしていく方向で作業を進めてまいります。

飯塚市と十二の地域がより良い関係を継続していただけるような補助金制度にさせていただきますように、お願いいたします。

最後になりましたが、災害により各地で被災されました皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。私の質問を終わります。ありがとうございます。

### 「災害緊急時」携帯電話への一斉メール通報

(受信は無料)

まずは十二月一日に「NTTドコモ」から始まりますが、他のキャリア（auやソフトバンク）につきましても、順次開始される予定です。

## 電話番号が変更となりました

新しい番号は

「090-3079-0470」です。

### ご意見・ご要望をお聞かせください

あなたが気付かれたことには、実は、たくさんの皆さんが困っているのかもしれない。

気付いたことがありましたら、どうぞ、お気軽にお知らせください。

### サポーター募集

市政報告「ゴーゴー・しんご」の配布を手伝っていただけの方や、市政へのご意見、政策のご提言などございましたら、ご連絡下さいませ。

### ホームページやブログのアドレスは、こちらです。

<http://ueno-shingo.com>

是非、ご覧ください。